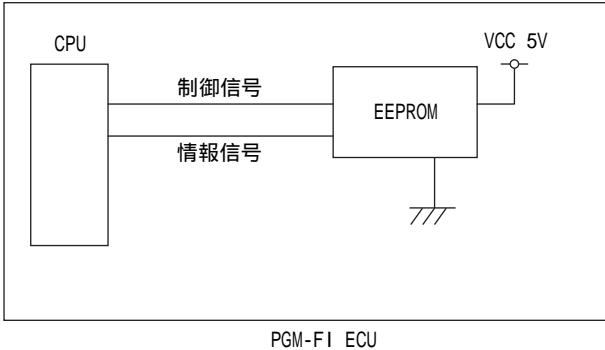


DTC 解説

DTC P062F: ECU 内部回路異常 (EEPROM) (PGM-FI システム)

検知原理解説



01_P0603G_TM8A00

PGM-FI ECU には、EEPROM が内蔵されている。
パワートレイン制御上保護する必要のある情報（制御学習値等）や車両に関する情報（フレーム ナンバ等）については、バッテリー取外し時などで PGM-FI ECU に電源が供給されない状態でも情報を保持できる様に、EEPROM に保存する。PGM-FI ECU への電源非供給状態から復帰すると、CPU は EEPROM から保持されていた情報を読出すが、データ読出し処理が正常に終了しなかった場合、PGM-FI ECU は EEPROM の故障と判定し、DTC をストアする。また、CPU は保持データそれぞれの要求タイミングで CPU から EEPROM へデータの書き込みを行う（制御関連情報はイグニッション スイッチ ON(II) 時、車両情報は診断機からのコマンド要求時）。データ書き込み処理が正常に終了しなかった場合、PGM-FI ECU は EEPROM の故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	1 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
イグニッション スイッチ	ON(II)

故障判定基準

EEPROM のデータ書き込み / 読み込み処理毎に故障検知を行い、1 回でも正常処理しなかった場合。

推定故障部位

PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。